AP R134a マニホールドゲージ

商品コード2007000011140

真空引きにも対応した、ゲージ付のマニホールドです。
ここでは簡単な使用方法を紹介しますが、実際使用するにあたっては、付属の説明書をよく読み、車輌整備書に従い作業を行ってください。

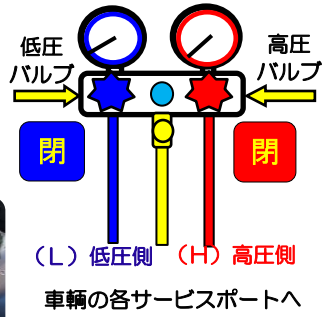
商品仕様

- ◆圧力測定範囲：高圧ゲージ：0～3.5MPa・低圧ゲージ：-0.1～1.5MPa
- ◆接続口径：1/4フレア（7/16）
- ◆ホース長：1500mm
- ◆付属品：チャージホース×3・サービス缶バルブ×1・低圧用クイックカプラー×1
  高圧用クイックカプラー×1・取扱説明書×1
- ◆冷媒の状態を確認できるサイトグラス付き

①圧力測定

エアコンの状態を確認するために圧力を測定します。

① 低圧バルブと高圧バルブを確実に閉めてください。その後クイックカプラーを車輌の低圧側【L】と高圧側【H】のサービスポートへそれぞれ取り付けます。　※国産車の場合は基本的にサービスポートにそれぞれ【L】と【H】の文字が書かれたキャップが付いていますが、書かれて無い物やキャップが無い場合間違えない様に気を付けてください。
※ここまではエンジン停止状態で作業してください



② カプラーを取り付けたらエンジンを始動してエアコンをONに、風量を最大、最低温度、内気循環に設定し、圧力を測定します。※測定後はエンジンを停止させてください。

②真空引き

エアコンの冷媒（ガス）を充填する前には配管等に残った空気や水分を除去する為に真空引き作業を行います。

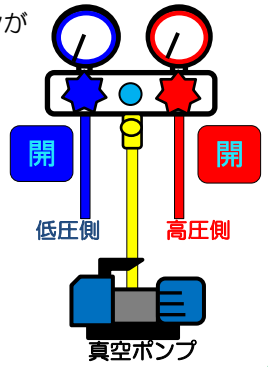
余分な空気や水分が残っていると圧縮不良等が発生し、エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあるため、必ず行ってください。

※真空引き作業は必ずエンジン停止状態で行ってください。

① 黄色いチャージホースに真空ポンプを取り付けます。

② 低圧バルブと高圧バルブを開き、真空ポンプをONにして真空引き作業を開始します。

③ この時、両方のゲージが負圧側（0より下の位置）を示しているか確認してください。



注意！
真空ポンプは別途ご用意ください。

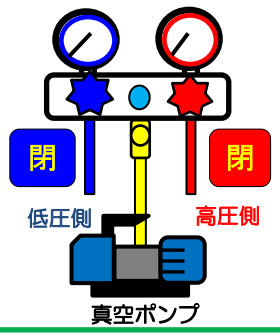
③気密テスト

真空引きの後は冷媒を入れた時に漏れがないか確認を行います。

① 真空引きが終了したら低圧バルブと高圧バルブを閉めて真空ポンプを停止させてください。

② そのまま20～30分程放置してゲージの針が0に戻らないか確認してください。

③ 針が0に戻る場合は、漏れているおそれがあるため、エアコン機器の点検や修理が必要です。



④冷媒充填

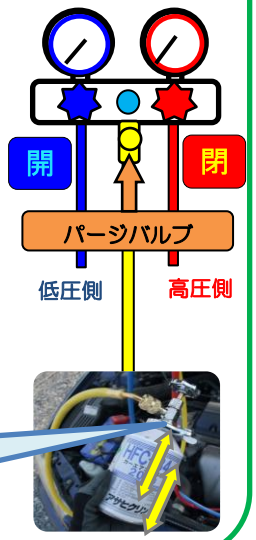
漏れがない事を確認したら冷媒を充填します。

① 黄色のチャージホースから真空ポンプを取り外し、代わりにサービス缶バルブとガス缶を取り付けます。

② 黄色いチャージホース取付部の根元にあるパージバルブをガスが少し出る程度押して、ホース内の空気を排出します。

③ サービス缶バルブを開き、冷媒を充填します。この時、**低圧バルブ**のみ全開にしてください。

④ ガス缶を持ち上下に軽く振るとガスが補充されます。ここまでの作業でガスが十分に入りきらなかった場合は、（⑤冷媒補充のみ）と同じ工程で冷媒補充を行ってください。



バルブを開き、缶を上下に振るとガスが入っていきます。

⑤冷媒補充のみ

著しい漏れや、ガスを抜いての修理以外でエアコンの効きが悪いという場合はこの冷媒補充作業のみで改善されます。

① 低圧バルブ、高圧バルブを確実に閉めてください。

② 車輌低圧ポートにクイックカプラーを接続します、サービス缶バルブにガス缶を取り付けます。この時サービス缶のバルブはまだ開けないでください。

③ エンジンを始動してエアコンをONにします。この時、風量を最大、最低温度、内気循環にそれぞれ設定してください。

④ サービス缶バルブを開け、黄色いチャージホース取付部の根元にあるパージバルブをガスが少し出る程度押してホース内の空気を排出します。

⑤ 低圧バルブを開きゲージを確認しつつ、ガスを軽く振りながら補充します。

⑥ 低圧バルブを閉じて低圧側ゲージを確認します。ゲージが適正値になっていない場合は、再度低圧バルブを開き適正値になるまで補充作業を行います。

ゲージの見方など、詳しくは付属の取扱説明書に記載されています。